

# 沿革

年	経営	製品／開発
1923	・古河電気工業と、ドイツのシーメンス社との資本・技術提携により「富士電機製造(株)」設立	
1924		・モータの製造開始
1925	・重電機器事業に進出	・変圧器の製造開始
1927	・家庭電器事業に進出	・発電機、扇風機の製造開始
1930		・整流器の製造開始
1933	・通信機事業に進出	・国内初のガラス遮断器(膨張遮断器)を製作
1935	・通信機部門を分離し、富士通信機製造(株)(現・富士通(株))設立	
1937	・計測器事業に進出	・電力量計の製造開始
1944	・(株)高千穂商会(現・富士電機E&C(株))の全株式を取得	
1953	・半導体事業に進出	・半導体(セレン整流器)の製造開始
1954		・超小型電磁開閉器の製造開始
1967		・漏電遮断器を開発
1968	・川崎電機製造(株)を吸収合併	
1969		・自動販売機の製造開始
1971		・ハイブリッドICの製造開始
1973		・複写機用セレン感光体の製造開始
1975	・物流部門を分離し、富士物流(株)を設立	
1976		・汎用インバータの生産開始
1980	・中央研究所を分離し、(株)富士電機総合研究所を設立	
1982		・りん酸形燃料電池を開発
1984	・社名を「富士電機(株)」に変更	
1985		・磁気記録媒体の製造開始 ・PLC(プログラマブルコントローラ)発売開始
1986		・MOSFETの生産開始
1988		・IGBTモジュールの製造開始
1989		・EIC統合化制御システムの納入
1992		・オゾン利用の浄水処理システムの完成 ・フィルム基板太陽電池の開発開始
1994		・当社開発の宇宙用パワートランジスタを搭載した国産初H-IIロケット打ち上げ
1996		・世界初の大容量平型IGBT「車両用IGBT主変換装置」を受注
1998		・100kWりん酸形燃料電池の納入
1999	・カンパニー制を導入、執行役員制を導入	
2002	・三洋電機自販機(株)の全株式を取得 ・変電機器事業で(株)日立製作所と(株)明電舎との合併会社「(株)日本AEパワーシステムズ」設立	・バイオガス対応燃料電池発電システム技術を確認
2003	・純粋持株会社制に移行し、「富士電機ホールディングス(株)」に社名変更 ・富士電機冷機(株)を完全子会社化	
2006		・フィルム型アモルファス太陽電池の製造開始
2008	・水環境事業で日本ガイシ(株)との合併会社「メタウォーター(株)」設立 ・受配電・制御機器事業で日本法人シュナイダーエレクトリック(株)との合併会社「富士電機機器制御(株)」設立	・世界初リチウムイオンキャパシタ適用高圧瞬低対策装置を開発